

平成 29 年 度

主 要 な 施 策 の 成 果 説 明 書

中 央 区

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定
に基づき、平成29年度における主要な施策の成果説明書を
提出します。

平成30年9月20日

中央区長 矢田 美英

主要な施策の成果について

本区の定住人口は、平成10年から21年連続で増加し、平成29年の1年間をみれば7,183人の増となり、平成30年5月には16万人を超えたところでは、また、平成29年の出生数は、2年連続で年間2,000人を突破し、2,079人にのびりました。

こうした著しい人口増加や区民ニーズの多様化に対処しつつ、誰もが安心して生涯にわたりいきいきと暮らすことのできるまちを実現するためには、児童数増加に対応した教育環境の整備や子育て支援の充実に加え、地域の力を生かした高齢者施策の強化、区民の学びや生きがいをづくりの支援、本区の魅力を発信しにぎわいを創出する都市観光の推進、地域防災力の向上などに着実に取り組んでいくことが必要です。

「区制施行70周年」の節目の年でもあった平成29年度は、「20万都市への幕開け!!—オリンピック・パラリンピックとその先の輝かしい未来に向けて—」をテーマに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会とその後を見据え、都心にふさわしい基盤づくりに向けた施策を展開しました。新たなステージへの第一歩を力強く踏み出すため、「基本構想」および「基本計画2018」を策定するとともに、晴海地区の小中学校の整備など東京2020大会後の児童数増加に対応した教育環境の充実に、保育施設や子ども発達支援センターの整備など子育て施策の推進、人形町おとしより相談センターの開設や高齢者通いの場支援事業など地域支援の拡充、新たな発見や交流の場を提供する生涯学習拠点の設計、本区の魅力を国内外に発信する観光プロモーションなどに重点的に取り組みました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

平成29年度 主要な施策一覧

事業			新規	決算額 (千円)	頁	
1 思いやりのある 安心できるま ちをめざして	○ 生涯をいきい きと暮らすた めに	* 保健医療	(1) 母子保健指導		33,157	6
			(2) がん検診		483,415	7
			(3) 自殺総合対策推進事業		1,431	7
			(4) 禁煙外来医療費助成	新規	228	8
			(5) データヘルス計画の策定	新規	5,020	8
	* 障害者福祉	(1) 障害児放課後等デイサービス事業		37,922	8	
		(2) 障害者就労支援モザイク平板の設置		3,553	9	
		(3) 子ども発達支援センター等の整備		422,298	9	
		(4) 高次脳機能障害者支援事業		361	9	
		(5) 重症心身障害児(者)在宅レスパイト事業		1,688	10	
		(6) 障害福祉計画の改定および障害児福祉計 画の策定		7,192	10	
	* 高齢者福祉	(1) 高齢者合同就職面接会		125	10	
		(2) 高齢者健康づくり事業		27,926	11	
		(3) 敬老大会		65,547	11	
		(4) 地域見守り事業支援		1,678	12	
		(5) 認知症施策の推進		3,319	12	
		(6) 高齢者食事サービス		20,357	12	
		(7) 在宅療養支援		20,330	13	
		(8) ミドルステイ・緊急ショートステイ		15,514	13	
		(9) 巡回型ホームヘルプサービス		69,506	14	
		(10) 高齢者生活援助サービス		13,166	14	
		(11) 元気高齢者人材バンク		1,180	14	
		(12) 人形町おとしより相談センターの整備・開設	新規	3,330	15	
		(13) 高齢者通いの場支援事業	新規	1,465	15	
		(14) いきいき桜川(桜川敬老館)の改築等	新規	107,201	15	
		(15) 高齢者保健福祉計画および介護保険事業 計画の改定		9,214	15	
	○ 健やかな子ど もを育むため に	* 子育て支援	(1) 保育定員の拡大等		1,313,032	16
			(2) 子どもの居場所「ブレディ」		354,206	17
			(3) 認証保育所保育料の補助		163,324	17
			(4) 子ども医療費助成		721,929	17
			(5) 保育支援者雇用に対する補助		10,137	17
			(6) 保育士等キャリアアップ事業		321,847	18
			(7) 水谷橋公園内保育所の整備		50,336	18
(8) アレルギー児対応等補助				43,416	18	
(9) 保育士宿舎借上支援事業			新規	27,606	18	
(10) 一時預かり保育の定員拡大				39,585	18	
(11) 寡婦(寡夫)控除のみなし適用等の実施			新規	-	19	
(12) 私立認可保育所および認定こども園の家賃 補助上限額の引上げ				519,972	19	
(13) 保育所等におけるICT化推進事業				11,882	19	
○ 思いやりとふ れあいのある まちのために	* 男女共同参画	(1) ワーク・ライフ・バランス推進企業等の認定		2,609	20	
		(2) 男女共同参画行動計画の改定		4,615	20	

平成29年度 主要な施策一覧

事業				新規	決算額 (千円)	頁	
2 うるおいのある 安全で快適な まちをめざして	○ 住みやすい 環境づくり	* 住宅・住環境	(1)	高齢者向け民間賃貸住宅の整備誘導		47,640	21
			* 公園・緑地・ 水辺	(1)	民間施設の緑化促進		3,941
		(2)		水の都プロジェクトの推進		117,993	22
		(3)		街路樹・街路灯の整備		92,493	22
		(4)		緑の実態調査	新規	11,340	23
		(5)	公園・児童遊園の改修		70,891	23	
	(6)	地域による公園自主管理活動支援事業		1,263	23		
	○ 地球にやさし い環境づくり	* 環境保全	(1)	自然エネルギー・省エネルギー機器等導入 費助成		22,074	24
			(2)	照明灯のLED化		169,082	24
			(3)	「中央区の森」の間伐材を活用したベンチ 整備		3,348	24
			(4)	地域クリーンパトロールの展開		37,034	24
			(5)	環境行動計画の改定	新規	4,873	25
		* 循環型社会	(1)	リサイクル事業の普及・啓発		2,608	25
			(2)	資源持ち去り防止対策		4,986	25
			(3)	資源再利用(リサイクル)の推進		519,111	26
			○ 都心にふさわ しい都市の基 盤づくり	* 道路・交通	(1)	橋りょう長寿命化修繕工事	
	(2)	橋りょうの健全度調査				53,381	27
	(3)	新島橋の架替				309,667	27
	(4)	環境にやさしい道路の整備				93,114	28
	(5)	電線共同溝の整備				289,059	28
	(6)	豊海橋の改良				300,104	29
	(7)	人にやさしい歩行環境の整備				272,069	29
	(8)	歩行者専用橋の整備				549,007	30
	(9)	にぎわいのある道路の整備				48,384	30
	(10)	自転車走行空間の整備			新規	14,342	30
	(11)	道路のバリアフリー化およびベンチの設置				9,334	30
	(12)	昭和通り銀座歩道橋昇降機の改修				218,057	31
	* 防災・危機管理	(1)	防災拠点運営委員会訓練の支援		9,316	31	
		(2)	防災対策優良マンション認定制度		4,634	31	
		(3)	防災区民組織に対する資器材供与の充実		12,093	32	
		(4)	マンション向け防災体験プログラム		399	32	
		(5)	帰宅困難者支援施設運営協議会への支援		7,538	32	
		(6)	住宅・建築物の耐震化助成		402,418	33	
		(7)	防災用ネットワークカメラの設置		11,619	33	
		(8)	防災行政無線のデジタル化	新規	102,840	33	
		(9)	防災マップアプリの作成	新規	7,216	34	
		(10)	荒川大規模氾濫に関する基本方針等の策 定	新規	3,909	34	
		(11)	防犯設備整備費助成		43,668	34	
	(12)	客引き等対策補助	新規	870	34		
	* 地域整備	(1)	名橋「日本橋」上空の首都高速道路地下化 および日本橋再生に向けたまちづくり		10,957	35	
		(2)	まちづくり支援事業(コミュニティ・ファンド)		813,060	35	
		(3)	市街地再開発事業助成		12,319,523	36	

平成29年度 主要な施策一覧

事業			新規	決算額 (千円)	頁	
3 にぎわいとふれあいのある躍動するまちをめざして	○ にぎわいと活力のある産業のまちづくり	* 商店街振興	(1) 観光商業まつり		44,819	37
			(2) 商店街支援事業補助		113,121	37
			(3) 連携型商店街活性化モデル事業		3,390	37
			(4) 共通買物券の発行		580,246	38
		* 産業振興	(1) 創業支援		5,550	38
			(2) 日本橋問屋街活性化事業支援		5,359	38
			(3) 商工業融資		1,756,818	39
			(4) 若年者合同就職面接会		236	40
			(5) 職業相談・就職ミニ面接会		513	40
			(6) ビジネス交流フェアの開催	新規	1,297	41
		* 観光	(1) まち歩きツアー舟運コース		536	41
			(2) 観光案内施設事業費補助		46,341	41
			(3) 観光まち歩き情報の配信		4,251	41
			(4) 観光案内標識の設置・更新およびフリーWi-Fi環境の整備	新規	124,642	42
			(5) 観光プロモーション映像の制作	新規	10,800	42
			(6) 都市観光環境の整備	新規	3,500	42
			(7) 日本橋船着場における舟運活性化事業補助	新規	13,000	42
		○ いきいきと学び豊かな個性を育むまちづくり	* 学校教育	(1) 学習意欲の向上と学習習慣の定着		8,009
	(2) 小学校の学力向上対策				71,819	43
	(3) 中学校の学力向上対策				69,713	44
	(4) 英語教育の推進				75,360	44
	(5) 健康教育の推進				62,793	44
	(6) 特別支援教育への対応				118,348	45
	(7) 心を育てる教育の推進				13,373	46
	(8) オリンピック・パラリンピック教育の推進				16,762	46
	(9) 教育相談等				57,944	47
	(10) 小学校英語講師の配置				10,784	47
	(11) 早稲田大学と連携した理数教育の推進				222	47
	(12) パイロット校における国際教育・理数教育の推進				7,670	48
	(13) ひとり親家庭等の子どもの学習支援事業				1,903	48
	(14) 晴海地区の小中学校の整備			新規	38,847	49
	(15) 小学校・幼稚園の改築・増築				6,413,168	49
	(16) 学校の主な改修				397,450	49
	* 生涯学習・スポーツ	(1) キンボールスポーツワールドカップ交流会	新規	1,256	50	
		(2) 中学生ボランティア体験		-	51	
	○ 文化の香る交流のまちづくり	* コミュニティ	(1) 大江戸まつり盆おどり大会		44,103	52
			(2) 協働提案事業		1,629	52
			(3) 区民還暦祝い事業		10,895	52
	* 文化振興	(1) 本の森ちゅうおう(仮称)の整備	新規	50,002	53	
		(2) 中央区まるごとミュージアム		35,028	53	
		(3) まちかど展示館		10,263	53	
	* 平和	(1) 平和の都市(まち)の楽しい集い		9,433	54	
(2) 平和展			2,465	54		

平成29年度 主要な施策一覧

事業		新規	決算額 (千円)	頁
4 その他の主要な課題への対応と区政改革の推進	○ 新たな課題への対応	(1) 新たな基本構想の策定	888	55
		(2) 中央区基本計画の策定	4,222	55
		(3) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた区民参加の推進	231	55
		(4) 中央区ホームページにおけるウェブアクセシビリティの向上	1,309	56
		(5) タブレット端末を利用した通訳サービス	319	56
		(6) OAパソコンのデスクトップ仮想化	158,758	56
		(7) 区施設のあり方検討	3,996	57
		(8) 新たな寄附のあり方検討	2,673	57
		(9) 地域福祉コーディネーターおよび生活支援コーディネーターの配置	25,495	57
		(10) 「みんなの食堂」に対する支援	44	57
	○ 区施設の改修	(1) 女性センター「ブーケ21」	24,684	58
		(2) 中央会館「銀座ブロッサム」	40,273	58
		(3) 日本橋社会教育会館・日本橋図書館	888,618	58
		(4) 月島社会教育会館晴海分館「アートはるみ」・ふれあい作業所	295,694	58
		(5) 月島運動場	92,399	58
		(6) 月島スポーツプラザ等複合施設(月島スポーツプラザ、月島幼稚園、月島西仲住宅)	14,062	58
		(7) 特別養護老人ホーム等「マイホーム新川」	835,468	59
		(8) つくだ保育園	425,173	59
		(9) 日本橋保育園	10,673	59
		(10) 築地あかつき住宅	39,247	59
		(11) 晴海ガーデンコート	13,958	59

計 147事業(うち新規30事業)

1 思いやりのある安心できるまちをめざして

○ 生涯をいきいきと暮らすために

* 保健医療

(1) 母子保健指導

[決算額 33,157千円]

ア 新生児等訪問指導

乳幼児家庭の孤立化を防ぎ、母子の状況把握や助言等を行うため、保健師等による新生児等訪問指導や、健診等で状況が把握できない1歳6カ月児と3歳児がいる子育て家庭の調査と訪問指導を行った。

また、訪問を通じて支援が必要な母子を把握した場合は、子ども家庭支援センターに相談・通告を行うなど必要なサポートにつなげた。

新生児等の状況把握数	2,008人
1歳6カ月児の状況把握数	1,980人
3歳児の状況把握数	1,793人

イ 妊娠初期からの「孤育て予防」のための情報発信

出産や子育てに関する不安の解消を図るために、産前産後の経過に応じた子育て支援情報を携帯端末に配信した。

新規利用者数	産前（妊婦向け）	478人
	産前（男性向け）	70人
	産後（育児）	648人

ウ 妊娠期における支援体制の強化

母子保健コーディネーターを新たに2名配置し、妊娠届を提出した全ての妊婦について、妊娠届のスクリーニングを行い、心身の状態や家庭の状況を把握した。

また、スクリーニングを通じて支援が必要と判断した妊婦に対し、状況に応じたサポートを継続的に実施するとともに、特に手厚い支援が必要な妊婦については、新たに子ども家庭支援センターと特定妊婦情報共有会議を開催することにより情報共有を図り、きめ細かいサポートを実施した。

特定妊婦情報共有会議	開催回数	12回
------------	------	-----

エ 産後ケアの実施

家族から出産後の支援が受けられず、心身の不調、育児不安等が認められる母親とその生後10週未満の子に対し、母親の育児に対する負担感の軽減を図るため、宿泊型の産後ケアを実施した。

利用件数	165件
------	------

(2) がん検診

[決算額 483,415千円]

がんの早期発見・早期治療を目的として、各種がん検診を実施した。平成29年度は、受診率向上のため、子宮がん・乳がん検診の未受診者への再勧奨を行ったほか、大腸がん検診の精密検査の未受診者への受診勧奨と意識調査および精密検査の結果把握を行い、受診率向上とがん検診の精度管理向上を図った。

受診者数	胃がん検診	10,054人
	子宮がん検診	8,161人
	肺疾患（肺がん等）検診	17,678人
	大腸がん検診	16,378人
	乳がん検診	5,948人
	前立腺がん検診	4,902人

(3) 自殺総合対策推進事業

[決算額 1,431千円]

ア 健康増進フェア

こころの健康づくり（うつ病・自殺予防）のコーナーを設置し、ストレス解消方法やうつおよび自殺に対する正しい知識を周知した。

イ 東京都自殺対策強化月間（9月・3月）

懸垂幕等の掲出（中央区保健所）、パネル展示（区施設4カ所）、街頭キャンペーン、ポスター掲示（区施設）、普及啓発コーナーの設置（京橋図書館）を行い、自殺に対する正しい理解の推進と、要因となるこころの悩み・多重債務・労働問題等の各種相談窓口を周知した。

ウ ゲートキーパー養成講座

悩んでいる人に気づき、必要な支援につなげ、見守る人を養成するゲートキーパー養成講座を実施した。

対象者 区民、在勤者、区職員等

実施回数 3回

参加者数 50人

エ 中央区自殺対策協議会

区における自殺対策の推進、自殺対策に関する関係機関等の連携に関する事項等を協議・検討するため、区、医療機関、関係機関等で構成する「中央区自殺対策協議会」を開催した。

開催数 2回（7月、2月）

(4) 禁煙外来医療費助成 [決算額 228千円]

禁煙を希望する喫煙者に対し、禁煙外来での治療を促すとともに、治療成功に向けた取組を支援するため、医療費の一部を助成した。

助成件数 18件

(5) データヘルス計画の策定 [決算額 5,020千円]

特定健康診査やレセプト等の情報を分析し、国民健康保険被保険者の健康課題を明確化することにより、効果的かつ効率的な保健事業を実施するため、「中央区国民健康保険第1期データヘルス計画」を策定した。

策 定 平成30年5月

計画期間 平成30年度～平成35年度

* 障害者福祉

(1) 障害児放課後等デイサービス事業 [決算額 37,922千円]

障害児の放課後や夏休み等における居場所の確保を図るため、児童福祉法に基づく放課後等デイサービスを実施した。

対 象 者 区内在住の小学生から高校生までの障害児

利用定員 1日15人

場 所 福祉センター2階 部屋2室

(平成30年4月から子ども発達支援センターへ事業移行)

利 用 料 無料 (昼食代等については実費を徴収)

実 施 日 月曜日から土曜日 (祝日、年末年始を除く。)

利用時間 平日 放課後～午後7時

土曜日および夏休み等長期休業日 午前9時～午後6時

その他の学校休業日 (開校記念日・都民の日等)

午前9時～午後7時

利用状況 登録者数 50人

開設日数 293日

利用者数 延2,366人

(2) 障害者就労支援モザイク平板の設置 [決算額 3,553千円]

福祉センター利用者の作業訓練の一環として、建設廃材を活用して制作したモザイク平板を区施設の壁面等に設置することにより、障害のある方の自立を支援するとともに、うるおいのあるまちづくりを推進した。

設置場所 湊公園

施工面積 約20㎡

(3) 子ども発達支援センター等の整備 [決算額 422,298千円]

発達障害等発達や育ちに支援が必要な子どもとその家族に対して、適切な相談や支援を行う地域の療育の拠点として子ども発達支援センターを整備するとともに、福祉センターにおける重度身体障害者の支援体制の充実を図るため施設整備を行った。

工事期間 平成29年7月～平成30年6月

名称 子ども発達支援センター ゆりのき

所在地 中央区明石町12番1号 中央区保健所等複合施設3階

開設 平成30年4月

(4) 高次脳機能障害者支援事業 [決算額 361千円]

交通事故や病気等により脳に損傷を受け、その後遺症として記憶・注意・遂行機能・社会的行動といった認知機能が低下した状態にある高次脳機能障害者に対する理解や支援等を行うため、各種事業を実施した。

高次脳機能障害者支援理解促進講演会の実施 参加者数 延59人

高次脳機能障害者交流会・相談（年4回）の実施 参加者数 延17人

連絡会（年2回）の実施 参加者数 延50人

高次脳機能障害者支援パンフレットの作成

(5) 重症心身障害児（者）在宅レスパイト事業 [決算額 1,688千円]

日常的に医療的ケアを必要とする在宅の重症心身障害児（者）および人工呼吸器装着等医療的ケアを受けている児童の家庭に対し、訪問看護師を派遣し一定時間ケアを代替することにより、当該障害児（者）等の健康の保持と家族の介護負担の軽減を図った。

対 象	医療的ケアが必要な在宅の重症心身障害児（者）または人工呼吸器装着等の医療的ケアを受けている児童を介護する家族
利用料金	所得に応じた利用者負担あり
利用条件	年24回を超えない範囲で月4回まで 1回につき2時間～4時間までの範囲で30分単位
利用回数	延66回

(6) 障害福祉計画の改定および障害児福祉計画の策定 [決算額 7,192千円]

平成28年度に実施した実態調査の結果を活用し、平成30年度を始期とする「障害福祉計画」の改定および「障害児福祉計画」の策定を行った。

策 定	平成30年3月
計画期間	平成30年度～平成32年度

* 高齢者福祉

(1) 高年齢者合同就職面接会 [決算額 125千円]

おおむね55歳以上の高年齢者の就労機会を拡大するため、求職中の高年齢者と求人を希望する区内を中心とした企業との合同就職面接会を「中央区地域雇用問題連絡会議」（区・社会福祉法人中央区社会福祉協議会・公益社団法人中央区シルバー人材センターほか）主催により開催した。

開 催 日	平成30年2月28日
会 場	区役所大会議室
参加企業	16社
来場者数	66人

(2) 高齢者健康づくり事業

[決算額 27,926千円]

高齢者が生涯にわたり健康であり続けることができるよう、身体機能の維持向上等介護予防に資する健康づくりを推進した。

ア はつらつ健康教室・さわやか健康教室

生活機能に低下が認められる方を対象に「はつらつ健康教室」を、低下が認められない方を対象に「さわやか健康教室」を実施した。

はつらつ健康教室参加者数 延2,293人（計288回）

さわやか健康教室参加者数 延1,448人（計192回）

イ ゆうゆう講座

60歳以上の高齢者で要支援・要介護認定を受けていない方を対象に、楽しみながら自然と健康づくりにつながる講座を実施した。

参加者数 延952人（計24回）

ウ 訪問健康づくり

健康教室に通うことが困難と思われる方を対象に、保健師が居宅を訪問し、生活機能向上に必要な指導・助言を行った。

事業利用呼びかけ電話等 208回

訪問件数 65回

エ さわやか体操リーダーの活動支援

高齢者向け体操教室の指導等を行うさわやか体操リーダー（おおむね50歳以上の区民）の活動を支援するとともに、体操教室を拡大した。

リーダー登録者 24人

リーダーの体操教室参加者数 延2,492人（計240回）

オ 元気応援サポーターの育成

高齢者がより身近な場所で気軽に健康づくりに取り組むことができるよう、一緒に簡単な体操等を行う元気応援サポーター（おおむね50歳以上の区民）を新たに育成した。

サポーター登録者 6名

育成講座受講生 6名（修了者6名）

サポーターの派遣活動回数 計17回

(3) 敬老大会

[決算額 65,547千円]

「敬老の日」の記念行事の一つとして、70歳以上の高齢者を区内の劇場に招待した。

会場 新橋演舞場

参加者数 6,962人

開催日数 6日

(4) 地域見守り事業支援 [決算額 1,678千円]

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の方等が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、おとしより相談センターを中心とした地域見守りネットワークの拡大を図るため、あんしん協力員による声かけや見守り活動を行う地域団体への支援を行った。

見守り対象者数	513人
見守り団体数	20団体
あんしん協力員数	179人

(5) 認知症施策の推進 [決算額 3,319千円]

ア 認知症支援コーディネーター、認知症地域支援推進員の配置

認知症支援コーディネーター1人（介護保険課）および認知症地域支援推進員を3人（各おとしより相談センター）配置し、医療機関との連絡調整を図りながら認知症の早期発見・早期診断に向けた相談や戸別訪問を行った。

相談件数 3,866件（訪問件数 1,029件）

イ 認知症初期集中支援事業の実施

認知症に関する専門的な知識・技能を持つ医師と専門職からなる認知症初期集中支援チームを平成29年10月に設置した。医師の指導のもと、複数の専門職が認知症と疑われる方やその家族を訪問し、観察・評価等の初期支援を包括的・集中的に実施した。

派遣件数 2件

(6) 高齢者食事サービス [決算額 20,357千円]

食事の買い物や調理が困難な70歳以上（要支援・要介護認定を受けた方は65歳以上）のひとり暮らし高齢者・高齢者のみの世帯・日中独居の高齢者に安否確認を兼ねて食事（昼・夕食）を配達した。

総配食数	88,645食（うちエネルギー調整食、たんぱく質調整食 5,111食）
利用者数	443人

(7) 在宅療養支援

[決算額 20,330千円]

ア 在宅療養支援病床の確保

要介護高齢者等が地域で安心して在宅療養を続けられるよう、病状の急変時に速やかな受け入れが可能な病床を確保した。

病床数 3床 (3カ所)

入院期間 14日以内

利用日数 延490日

イ 在宅療養支援協議会の運営

経管栄養等の医療的ケアを必要とする要介護者を在宅で介護する家族の負担を軽減するとともに、可能な限り在宅での生活を継続できるよう、学識経験者、医療関係団体、主任介護支援専門員等から構成される「中央区在宅療養支援協議会」において、支援のための体制づくりや方策を検討した。

実施回数 3回

協議内容 在宅療養支援研修について など

ウ 在宅療養支援訪問看護

要介護者等が在宅で療養中の場合や、病院等を退院・退所または外泊する場合に、看護師等が居宅を訪問し療養上の相談や医療的ケアの指導等を行う訪問看護を行った。

派遣回数 延22回

利用者数 13人

エ 在宅療養支援研修

医療機関および介護サービス事業所を対象に、在宅療養支援に必要な知識や技術の習得・向上および多職種連携の強化を図るための研修を、また区民を対象に、在宅療養の意識啓発と情報提供を図るための研修を実施した。

医療機関および介護サービス事業所向け 1回

区民向け 2回

(8) ミドルステイ・緊急ショートステイ

[決算額 15,514千円]

ア 特別養護老人ホーム入所申込者の在宅介護を支援するため、連続して1～3カ月(年間上限3カ月) 宿泊利用できるミドルステイを実施した。

利用施設 サニーパレス京橋 (民間介護付有料老人ホーム)

確保床数 2床

対象者 要介護4または5で区内特別養護老人ホームの入所申込者

利用者数 7人

利用日数 延394日

イ 介護者が急病や著しい心身の疲労等で介護が困難な場合に、緊急に短期入所サービスを民間委託により実施することで、要介護者家族の在宅介護の支援を図った。

利用施設 サニーパレス京橋（民間介護付有料老人ホーム）
確保床数 3床（うち1床は医療ニーズの高い方対応枠）
対象者 要介護または要支援の在宅療養者
利用者数 38人（うち5人は医療ニーズの高い方）
利用日数 延474日（うち57日は医療ニーズの高い方）

(9) 巡回型ホームヘルプサービス **[決算額 69,506千円]**

ア 24時間対応型

区が介護保険の訪問介護事業所として指定を受け、要介護者等がいる家庭に対し24時間巡回型ホームヘルプサービスを実施した。

利用者数 延338人（高齢者 284人、障害者 54人）

イ ナイトサポート

区が介護保険の夜間対応型訪問介護事業所として指定を受け、要介護者がある家庭を対象に夜間における定期巡回および緊急の要請に応じた相談・アドバイスを行うとともに、必要に応じて介護福祉士等を利用者宅へ派遣した。

利用者数 延841人

(10) 高齢者生活援助サービス **[決算額 13,166千円]**

要支援・要介護と認定された高齢者に対して、生活援助および院内介助のため、ヘルパーを派遣した。

生活援助派遣世帯数 462世帯（派遣回数 延5,175回）

院内介助派遣世帯数 119世帯（派遣回数 延901回）

(11) 元気高齢者人材バンク **[決算額 1,180千円]**

元気高齢者の社会参加活動を支援するため、ボランティア活動等のコーディネーター、技能お披露目会やPR会、児童館との多世代交流の実施、ホームページによる情報発信等を行った。

登録者数 75人

活動日数 延237日

活動者数 延599人

技能お披露目会開催回数 3回

PR会開催回数 2回

(12) 人形町おとしより相談センターの整備・開設 [決算額 3,330千円]

高齢者の総合相談体制を強化するため、「日本橋おとしより相談センター」の分室を日本橋人形町二丁目に開設した。

名 称	人形町おとしより相談センター
所 在 地	日本橋人形町二丁目32番4号 日本橋医師会人形町ビル1階
開 設 日	平成29年11月6日
窓口開設時間	月～土曜日 午前9時～午後6時（年末年始、祝日は除く。ただし時間外においてはコールセンターの連絡が可能）
相談件数	1,546件

(13) 高齢者通いの場支援事業 [決算額 1,465千円]

区内に住むひとり暮らしや閉じこもりがちな65歳以上の高齢者等が身近で交流できるサロン（通いの場）を立ち上げ、または既存の団体を拡充して通いの場を運営する団体に対し、運営費の一部の補助等を行った。

実施回数	316回（12カ所）
参加者数	延3,857人
ボランティア数	延1,214人

(14) いきいき桜川（桜川敬老館）の改築等 [決算額 107,201千円]

八丁堀駅周辺の公共施設の再編を踏まえ、既存施設の老朽化への対応および今後の人口増加を見据えた子育て支援・高齢者施設の拡充を目指し、敬老館、保育園、地域密着型特別養護老人ホーム等の複合施設を現在地に改築・整備する。平成29年度は新たな施設および仮設建物の設計（基本設計・実施設計）を行った。

所 在 地	中央区入船一丁目1番13号
施設概要	いきいき館（敬老館）、保育園、地域密着型特別養護老人ホーム（ショートステイを含む。）、認知症高齢者グループホーム
開設予定	平成32年度

(15) 高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画の改定 [決算額 9,214千円]

平成28年度に実施した実態調査結果を活用し、平成30年度を始期とする計画（中央区高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画）に改定を行った。

策 定	平成30年3月
計画期間	平成30年度～平成32年度

○ 健やかな子どもを育むために

* 子育て支援

(1) 保育定員の拡大等

[決算額 1,313,032千円]

保育所の待機児童の解消を図るため、私立認可保育所を開設する事業者に対して開設準備経費の一部の補助を行い、認可保育所6カ所の開設を支援した。

また、空いている保育室を活用し、臨時的に1歳児保育を行う期間限定型保育事業を実施する事業者に対して運営費の一部を補助した。

平成29年度開設の保育所 6カ所（定員506人拡大）

施設名	にじいろ保育園小伝馬町	ほっぺるランド佃 ※認証保育所から移行
運営事業者	ライクアカデミー株式会社	株式会社テノ. コーポレーション
所在地	中央区日本橋小伝馬町13番7号 銀泉日本橋小伝馬町ビル1～4階	中央区佃一丁目11番8号 ピアウエストスクエア ノースウイング2階・サウスウイング2階
定員	72人（0～5歳）	39→92人（0～5歳）
開設日	平成29年9月1日	平成29年10月1日

施設名	はるみさくらさくほいくえん	学栄ナーサリー日本橋蛸殻町保育園
運営事業者	株式会社プロッサム	株式会社学栄
所在地	中央区晴海二丁目5番24号 晴海センタービル1階	中央区日本橋蛸殻町二丁目15番5号 水天宮C Pビル1～4階
定員	21人（0～2歳）	156人（0～5歳）
開設日	平成29年10月1日	平成30年4月1日

施設名	ほっぺるランド新島橋かちどき	勝どきえほん保育園
運営事業者	株式会社テノ. コーポレーション	株式会社アンジェリカ
所在地	中央区勝どき五丁目2番15号 EDGE勝どき1・2階	中央区勝どき六丁目1番9号
定員	114人（0～5歳）	90人（1～5歳）
開設日	平成30年4月1日	平成30年4月1日

※認可保育所数および定員

平成29年4月1日 保育所数 46カ所 定員 4,050人

平成30年4月1日 （上記6カ所および定員変更後）

保育所数 52カ所 定員 4,611人（前年同日比561人増）

※期間限定型保育事業実施園

日生新川保育園ひびき、にんぎょうちょうさくらさくほいくえん

かふう保育園日本橋、テンドーラビング保育園東日本橋

(2) 子どもの居場所「プレディ」 [決算額 354,206千円]

子どもの健全育成を図るため、放課後等に子どもが安全に安心して過ごせる子どもの居場所「プレディ」を実施した。

平成29年度からは全てのプレディ設置校において専用ルームを活用した事業運営を行っている。

ア 開設校

中央小学校、明石小学校、京橋築地小学校、明正小学校、日本橋小学校、有馬小学校、久松小学校、佃島小学校、月島第一小学校、月島第二小学校、月島第三小学校、豊海小学校

イ 対象

区立小学校在籍児童および区内に住所を有する小学校児童

ウ 利用人数

延178,397人（午後5時まで 延142,446人、午後6時まで 延27,477人、
午後6時以降 延8,474人）

(3) 認証保育所保育料の補助 [決算額 163,324千円]

認証保育所に子どもを預けている保護者に対し、施設へ支払う保育料と認可保育園保育料との差額に応じて、10,000円から50,000円までの助成を行った。

助成件数 延5,312件

(4) 子ども医療費助成 [決算額 721,929千円]

乳幼児および小・中学生の医療費（通院・入院）を助成した。

ア 医療証発行状況（平成30年3月31日現在）

乳幼児医療証（対象：乳幼児） 12,162人

子ども医療証（対象：小・中学生） 9,252人

イ 助成件数

乳幼児医療 244,769件

子ども医療 137,355件

(5) 保育支援者雇用に対する補助 [決算額 10,137千円]

保育士の就業継続および離職防止を図るため、私立認可保育所において保育支援者を雇用した事業者に対し補助を行った。

補助件数 12件

(6) 保育士等キャリアアップ事業 [決算額 321,847千円]

保育士等が保育の専門性を高めながら、やりがいを持って長く働くことができるよう、キャリアアップ（賃金改善）に向けた取組を行っている事業者に対し補助を行った。

補助件数 49件

(7) 水谷橋公園内保育所の整備 [決算額 50,336千円]

待機児童の解消を図るため、立体都市公園制度を活用し、水谷橋公園（中央区銀座一丁目12番6号）内に保育所を整備する。平成29年度は基本設計、実施設計を実施した。

(8) アレルギー児対応等補助 [決算額 43,416千円]

アレルギー児対応等、多様なニーズに対応した取組を行っている事業者に対し補助を行った。

補助対象施設	アレルギー児対応	42カ所
	分園設置加算	3カ所

(9) 保育士宿舎借上支援事業 [決算額 27,606千円]

保育士確保を図るため、中央区社宅利用型借上住宅および一般賃貸物件を保育士等職員の宿舎として借上げを行っている事業者に対し補助を行った。

補助対象施設	社宅利用型借上住宅	3戸
	一般賃貸物件	46戸

(10) 一時預かり保育の定員拡大 [決算額 39,585千円]

日本橋地域における一時預かり保育の需要に対応するため、新たに一時預かり保育施設を整備した。

名称	子ども家庭支援センター十思分室		
所在地	中央区日本橋小伝馬町5番1号		
開館日	月曜日から金曜日まで（祝日・年末年始を除く。）		
利用時間	午前9時から午後5時まで		
定員	一時預かり保育	8名（うち0歳児は4名）	緊急保育 1名
保育開始日	平成29年10月2日（利用登録は同年9月1日から開始）		

(11) 寡婦（寡夫）控除のみなし適用等の実施 [決算額 ー 千円]

法律に基づく婚姻暦のないひとり親に対し、寡婦（寡夫）控除のみなし適用等を実施し、経済的負担の軽減を図った。

適用件数

保育所保育料（地域型保育を含む。） 2件

認定こども園保育料 1件

(12) 私立認可保育所および認定こども園の家賃補助上限額の引上げ

[決算額 519,972千円]

待機児童の早期解消と保育所開設後の運営の安定を図るため、施設の賃借料経費に係る補助の上限を引き上げ、補助の充実を図った。

補助対象施設 私立認可保育所 28園

認定こども園 1園

(13) 保育所等におけるICT化推進事業 [決算額 11,882千円]

保育士業務の負担軽減を図るため、保育業務支援システムを導入した事業者に対し補助を行った。

補助対象施設 13カ所

○ 思いやりとふれあいのあるまちのために

* 男女共同参画

(1) ワーク・ライフ・バランス推進企業等の認定 [決算額 2,609千円]

ワーク・ライフ・バランスを推進する中小企業等を認定し、その取組を広く紹介するとともに、アドバイザー派遣、セミナーの開催により一層の普及促進を図った。

新規認定企業2社、更新認定企業7社（更新は2年毎）、既認定企業15社、合計24社
アドバイザー派遣1社

セミナー開催 平成29年7月12日（参加者39人）、9月15日（参加者67人）

(2) 男女共同参画行動計画の改定 [決算額 4,615千円]

本区における男女共同参画を取り巻く現状や課題を踏まえ、社会環境の変化に的確に対応し、今後5年間の取り組むべき課題の基本的方向性を示すとともに、男女共同参画の形成に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、「中央区男女共同参画行動計画2018」を策定した。

策 定 平成30年3月

計画期間 平成30年度～平成34年度

2 うるおいのある安全で快適なまちをめざして

○ 住みやすい環境づくり

* 住宅・住環境

(1) 高齢者向け民間賃貸住宅の整備誘導 [決算額 47,640千円]

高齢者の居住安定の確保を図るため、民間事業者による高齢者向け優良賃貸住宅の家賃の減額に要する費用の一部を助成し、質の高い良好な高齢者向け住宅の供給を促進した。

家賃減額助成 5棟 105戸

* 公園・緑地・水辺

(1) 民間施設の緑化促進 [決算額 3,941千円]

緑豊かな都市景観の創出やヒートアイランド現象の緩和等を目的として、接道部、地上部および建物の屋上等を一定の割合で緑化するよう指導するとともに、緑化に要する経費の一部を助成した。また、「花と苗木の即売会」を開催し、緑化相談や屋上・ベランダ緑化の見本展示等を通して、緑化の普及・啓発を図った。

ア 民間施設の緑化助成

緑化助成 4件 3,711千円

樹木等保護育成助成 5件 160千円

イ 花と苗木の即売会

開催4回

(春：あかつき公園、月島第一児童公園 秋：浜町公園、月島第一児童公園)

(2) 水の都プロジェクトの推進

[決算額 117,993千円]

貴重な水辺を区民の憩いの場として活用するため、利便性・安全性に配慮したうるおいのある水辺空間整備のための設計および工事を行った。

ア 月島川みどりの散歩道改修工事

整備箇所 中央区月島三丁目

整備内容 スロープ設置工 1式、LED照明 12基、ベンチ 12基、舗装工 1式

高木植栽 イロハモミジ・サルスベリほか 21本

低木植栽 クルメツツジ・アジサイほか 1,275株

地被植栽 コトネアスター・シャガほか 3,367株

完 成 平成30年3月

イ 朝潮運河護岸上部修景（晴海五丁目）設計委託

設計箇所 中央区晴海五丁目1番先

設計内容 基本設計・詳細設計

完 了 平成30年3月

(3) 街路樹・街路灯の整備

[決算額 92,493千円]

道路の改修工事に伴い、地域の意向を踏まえた街路樹の新規植栽を行うとともに、周辺環境と調和した街路灯を設置した。

ア 街路樹整備

中央区銀座八丁目18番先～19番先 ウミネコザクラ10本

中央区湊三丁目1番先～入船三丁目10番先 ヤマボウシ11本

中央区築地七丁目16番先～18番先 サルスベリ18本

中央区日本橋本石町四丁目2番先～3番先 オカメザクラ3本

中央区日本橋茅場町一丁目9番先～日本橋茅場町二丁目4番先 ハナミズキ20本

イ 街路灯整備

中央区銀座七丁目17番先～銀座八丁目18番先 6基

中央区京橋一丁目6番先～京橋二丁目9番先 6基

中央区湊三丁目1番先～入船三丁目10番先 7基

中央区築地七丁目16番先～18番先 6基

中央区日本橋本石町四丁目2番先～3番先 4基

中央区日本橋本町二丁目6番先～日本橋小舟町14番先 8基

(4) 緑の実態調査 [決算額 11,340千円]

本区のこれまでの緑化施策の達成状況や現在の緑化の実態を把握するため、緑の実態調査を行った。

(5) 公園・児童遊園の改修 [決算額 70,891千円]

区民のレクリエーションや憩いの場等の充実を図るため、公園・児童遊園の設計・改修を行った。

ア 箱崎川第一公園の設計

設計箇所 中央区日本橋箱崎町2番1号

設計内容 基本設計・詳細設計

完了 平成30年3月

イ 豊海運動公園の設計

設計箇所 中央区豊海町3番19号

設計内容 修正設計

完了 平成30年3月

ウ 佃公園（佃堀西側周辺）の改修

整備箇所 中央区佃一丁目11番4号

施工面積 1,408㎡

整備内容 しゅんせつ工 1式、階段テラス 1式、展望デッキ 1式ほか

完成 平成29年7月

エ 桜橋南東児童遊園の改修

整備箇所 中央区新富一丁目13番27号

施工面積 91㎡

整備内容 LED照明 1基、幼児用遊具 1基、ベンチ 1基、

園路舗装工 1式ほか

中低木植栽 サツキツツジ・アジサイほか 103株

地被植栽 フイリヤブラン・ヒペリカムカリシナムほか 416株

完成 平成30年3月

(6) 地域による公園自主管理活動支援事業 [決算額 1,263千円]

公園への愛着心を育むとともに地域コミュニティの推進を図るため、公園の清掃や芝生の管理、利用者へのマナー指導等、町会・自治会等地域団体による公園の自主管理活動の支援を行った。

活動助成団体数 4団体

自主管理公園 箱崎公園、石川島公園、黎明橋公園、左衛門橋南東児童遊園

○ 地球にやさしい環境づくり

* 環境保全

(1) 自然エネルギー・省エネルギー機器等導入費助成 [決算額 22,074千円]

地球温暖化対策として、自然エネルギー・省エネルギー機器等の普及を促進するため区内の住宅および事業所の機器導入に対して費用の助成を行った。

助成実績

・住宅用	家庭用燃料電池システム（エネファーム）	4件
	高反射率塗料等	6件
・共同住宅共用部用	LEDランプ・LED誘導灯器具	38件
	高反射率塗料等	4件
・事業所用	エアコンディショナー	24件
	LEDランプ・LED誘導灯器具	29件

(2) 照明灯のLED化 [決算額 169,082千円]

地球温暖化対策の一環として、環境に配慮したLEDランプを公園灯・街路灯および区施設に導入した。

公園灯	57基
街路灯	646基
区施設照明灯（区営駐車場）	737本

(3) 「中央区の森」の間伐材を活用したベンチ整備 [決算額 3,348千円]

「中央区の森」の間伐材を使用したベンチを製作し、公園に設置した。

ベンチ整備数 10基（鉄砲洲児童公園）

(4) 地域クリーンパトロールの展開 [決算額 37,034千円]

歩きたばこやポイ捨てを防止するため、主要交差点や駅周辺を中心とした区内全域において巡回指導を行った。また、歩きたばこが多い交差点を中心に、町会や事業所等と連携して街頭キャンペーンを実施した。

巡回指導実施日	毎日（年末年始を除く。）	午前7時～午後7時
巡回体制	2人1班の7班体制	
街頭キャンペーン	築地四丁目交差点ほか	10カ所

(5) 環境行動計画の改定 [決算額 4,873千円]

平成20年3月に策定した「中央区環境行動計画」の期間終了に伴い、区民や事業者との連携による環境施策のさらなる推進を図るため、平成30年3月に「中央区環境行動計画2018」を新たに策定した。

計画期間 平成30年度から平成39年度

* 循環型社会

(1) リサイクル事業の普及・啓発 [決算額 2,608千円]

3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進をはじめ、環境問題全般について、子どもから大人まで楽しみながら学ぶ「エコまつり」とフリーマーケットを同時開催した。エコまつりでは、区内の小・中学校等から排出された生ごみの堆肥により栽培した野菜（キャベツ）等の販売を行った。

また、地域団体が主催するフリーマーケットの開催を支援した。

ア エコまつり

実施日 平成29年6月4日

会場 中央区保健所・あかつき公園

来場者数 約2,800人

実施内容 リサイクル自転車の販売、「中央区の森」の間伐材を活用したワークショップ等全22ブース

イ フリーマーケット

(区主催)会場 あかつき公園（エコまつりと同時開催、69店舗出店）

(地域団体主催)会場 月島第二児童公園（平成29年10月28日開催、44店舗出店）

(2) 資源持ち去り防止対策 [決算額 4,986千円]

ア 資源持ち去り防止パトロールの実施

区民が安心して資源物を排出できる環境を確保するため、資源持ち去り防止パトロールを実施した。

パトロール実施日 月曜日～土曜日（年末年始を除く。）

イ びん・缶コンテナへの警告文の表示

警告文を表示したびん・缶用コンテナを製作し、集積所へ配置した。

びん・缶用コンテナ製作数 2,000個

ウ 新聞回収袋の配布

区へ排出したことを明示した新聞回収袋を区役所、中央清掃事務所、日本橋・月島特別出張所、京橋・日本橋・月島図書館で配布した。

(3) 資源再利用（リサイクル）の推進

[決算額 519,111千円]

ア 集団回収の支援

地域のリサイクル活動を推進するため、リサイクル活動団体に対する助成を行った。

登録団体数 301団体

回収実績 4,828,671kg

イ 拠点回収

公共施設において飲料用紙パック、食品用発泡スチロールトレイ、乾電池、布類、小型家電の回収を行ったほか、毎週土曜日に全小学校、銀座中学校および日本橋中学校で飲料用紙パック、食品用発泡スチロールトレイ、廃食用油、布類、蛍光管、乾電池、小型家電、体温計・血圧計・温度計（水銀式のもの）の回収を行った。

回収実績 81,610kg（うち小型家電 1,939kg）

ウ 集積所回収

集積所で紙類、びん、缶、スプレー缶、カセットコンロ用ガスボンベ、ペットボトル、金属製のなべ・やかん・フライパン、プラスチック製容器包装の回収を行った。

回収実績 7,053,530kg

○ 都心にふさわしい都市の基盤づくり

* 道路・交通

(1) 橋りょう長寿命化修繕工事 [決算額 118,800千円]

橋りょうの安全性の確保や長寿命化を図るため、「中央区橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、橋りょうの修繕工事を行った。

・ 亀島橋

所在地 中央区新川二丁目9番先～八丁堀一丁目14番先

実施内容 車道舗装工、塗装塗替工、橋台補修工

・ 佃小橋

所在地 中央区佃一丁目6番先～8番先

実施内容 歩道・車道舗装工、橋台補修工

・ 朝潮小橋

所在地 中央区晴海五丁目1番先～勝どき六丁目3番先

実施内容 歩道舗装工、塗装塗替工

(2) 橋りょうの健全度調査 [決算額 53,381千円]

橋りょうの安全性確保を図るための定期的な調査として、老朽度や交通量等健全度調査を行った。

調査橋りょう 松幡橋、宝橋、久安橋、新場橋、晴月橋、朝潮橋

調査内容 現地踏査、外観目視調査、打音調査、交通量調査

(3) 新島橋の架替 [決算額 309,667千円]

下部工、上部工を整備した。

新橋概要

所在地 中央区勝どき四丁目13番先～勝どき五丁目2番先

規模 橋長 47.0m、幅員 36.0m～41.0m

完成予定 平成32年3月

(4) 環境にやさしい道路の整備

[決算額 93,114千円]

道路交通による騒音の抑制やヒートアイランド現象の緩和、雨水の流出抑制や地下水の涵養等を図るため、環境にやさしい道路整備を行った。

ア 工事

・低騒音舗装

中央区日本橋人形町一丁目19番先～日本橋人形町三丁目1番先

整備延長 230m 車道舗装 3,022㎡

・遮熱性舗装

中央区日本橋本町一丁目9番先～日本橋小網町16番先

整備延長 260m 車道舗装 2,825㎡

・車道透水性舗装

中央区銀座六丁目15番先～16番先ほか 2路線

整備延長 160m 車道舗装 414㎡

イ 調査

・舗装健全度調査

中央区八重洲二丁目7番先～八丁堀四丁目14番先ほか 2路線

実施内容 測量および調査

(5) 電線共同溝の整備

[決算額 289,059千円]

災害に強い都市基盤の整備や安全で円滑な道路交通の確保、都市景観の向上を図るため、電線共同溝の整備を行った。

ア 整備地区

・中央区日本橋本町二丁目6番先～日本橋小舟町14番先

実施内容 本体整備、移設補償

整備延長 170m

・中央区日本橋堀留町二丁目3番先～日本橋久松町13番先

実施内容 引込・連系管路工事

整備延長 400m

・中央区日本橋茅場町三丁目4番先～八丁堀一丁目10番先

実施内容 移設補償

整備延長 170m

イ 設 計

- ・中央区日本橋堀留町二丁目3番先～日本橋久松町13番先
実施内容 引込・連系管路設計
- ・中央区明石町1番先～9番先
実施内容 予備設計
- ・中央区八丁堀二丁目14番先～八丁堀三丁目18番先
実施内容 詳細設計、埋設物調査

(6) 豊海橋の改良 [決算額 300,104千円]

仮橋を設置するため、橋詰の撤去を行った。

所在地 中央区日本橋箱崎町19番先～新川一丁目19番先
規模 橋長 46.2m 幅員 8.0m
完成予定 平成31年5月

(7) 人にやさしい歩行環境の整備 [決算額 272,069千円]

高齢者や障害者を含むすべての人が、安全・安心・快適に利用できるように、歩道の拡幅や平坦化（段差改善）を行った。

- ア 中央区京橋一丁目6番先～京橋二丁目9番先
整備内容 歩道平坦化 整備延長 170m
- イ 中央区銀座七丁目17番先～銀座八丁目18番先
整備内容 歩道拡幅および平坦化 整備延長 160m
- ウ 中央区湊三丁目1番先～入船三丁目10番先
整備内容 歩道拡幅および平坦化 整備延長 140m
- エ 中央区築地七丁目16番先～18番先
整備内容 歩道平坦化 整備延長 180m
- オ 中央区日本橋本石町四丁目2番先～3番先
整備内容 歩道拡幅および平坦化 整備延長 100m
- カ 中央区日本橋茅場町一丁目9番先～日本橋茅場町二丁目4番先
整備内容 歩道平坦化 整備延長 190m
- キ 中央区新川二丁目10番先～11番先
整備内容 歩道拡幅および歩道平坦化 整備延長 30m

(8) 歩行者専用橋の整備 [決算額 549,007千円]

朝潮運河に歩行者専用橋を整備し、供用を開始した。

新橋概要

所在地 中央区勝どき二丁目2番先～晴海一丁目8番先
規模 橋長 87.8m、幅員 4.5m～5.5m

(9) にぎわいのある道路の整備 [決算額 48,384千円]

本区にふさわしいにぎわいを創出する上質な通行空間の形成と商業・観光振興に資するため、道路のカラー舗装整備を行った。

整備箇所 中央区銀座六丁目3番先～4番先
整備延長 120m
車道カラー舗装 801㎡

(10) 自転車走行空間の整備 [決算額 14,342千円]

東京都が自転車推奨ルートとして設定した区道3路線に自転車走行空間（自転車レーン、自転車ナビマーク等）の整備を行うために、測量・交通量調査・設計を行った。

対象路線 中央区八重洲二丁目7番先～八丁堀四丁目8番先（鍛冶橋通り）
中央区銀座七丁目14番先～築地五丁目3番先（中央市場通り）
中央区勝どき一丁目8番先～勝どき六丁目1番先（清澄通り）

(11) 道路のバリアフリー化およびベンチの設置 [決算額 9,334千円]

交差点部のバリアフリー化を推進するため、視覚障害者誘導用ブロックを設置するとともに、歩車道境界ブロックを改修し段差解消を行った。

また、歩行者が休憩等で利用するベンチを設置し、歩行空間の充実を図った。

設置・改修箇所

視覚障害者誘導用ブロック 37カ所（銀座）
歩車道境界ブロック 28カ所（銀座）
ベンチ 10カ所（明石町）

(12) 昭和通り銀座歩道橋昇降機の改修 [決算額 218,057千円]

昭和通り銀座歩道橋のバリアフリー機能の向上を目的として、既設エスカレーター4基のうち2基をエレベーターに改修した。

工事概要

所在地	中央区銀座七丁目14番先～銀座八丁目13番先
整備内容	エレベーター設置 2基
供用開始	平成29年11月

* 防災・危機管理

(1) 防災拠点運営委員会訓練の支援 [決算額 9,316千円]

地域の防災拠点運営委員会が自ら企画して実施する防災訓練を支援した。

実施場所	各防災拠点 (21委員会)
参加者数	延2,444人
主な訓練内容	避難所開設・運営訓練、初期消火・放水訓練、 資器材操作訓練、搬送訓練、AED・応急救護訓練等

(2) 防災対策優良マンション認定制度 [決算額 4,634千円]

マンションにおける防災対策の一層の推進とコミュニティの醸成を図るため、一定の条件を満たすマンションを「中央区防災対策優良マンション」として認定し、防災資器材等の助成を行った。

ア 認定実績

認定マンション 8棟 (平成30年3月末現在認定数 65棟)

イ 助成実績

防災資器材の支給 13棟

(支給した主な防災資器材)

カセットガス発電機、EV内防災用キャビネット、レスキューキット
非常用階段避難車、組立式仮設トイレ

防災訓練経費助成金の交付 31棟

AED購入費助成金の交付 1棟

(3) 防災区民組織に対する資器材供与の充実 [決算額 12,093千円]

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、地域防災力の向上を図るため、防災区民組織に対し、平成27年度から平成29年度にかけて重点的かつ計画的に防災資器材の供与を行った。

供与実績（平成29年度）

防災資器材 32組織

カセットガス発電機、インバーター式発電機、煮炊きレンジ、ハロゲン投光器、消火用スタンドパイプ、折りたたみリヤカー

防災資器材倉庫 1組織

(4) マンション向け防災体験プログラム [決算額 399千円]

訓練の活性化と防災意識の向上を図るため、子育て世代が参加しやすいマンション向け防災体験プログラム「イザ！カエルキャラバン！」の実施を支援した。また、訓練の企画、運営を居住者が主体となって行うことで、コミュニティの形成と防災組織立上げの契機とした。

実施実績 1棟

参加者数 240人（大人150人、子ども90人）

(5) 帰宅困難者支援施設運営協議会への支援 [決算額 7,538千円]

帰宅困難者を受け入れるための運営マニュアルの作成や訓練の実施等、「中央区帰宅困難者支援施設運営協議会」の活動を支援した。

平成29年度は、京橋地区委員会を中心に訓練を行い、協議会員間の連携・協力体制の強化を図った。また、防災マップアプリを活用した情報連携や帰宅困難者の誘導の検証を行うとともに、一時滞在施設と一時待機場所の役割の確認を行った。

帰宅困難者支援施設運営協議会総会の開催 1回

分科会の開催 2回

勉強会の開催 1回

地区委員会の開催 3回

帰宅困難者の受入訓練の開催 1回

訓練ワーキングの開催 1回

幹事会の開催 4回

(6) 住宅・建築物の耐震化助成

[決算額 402,418千円]

昭和56年の建築基準法改正以前の建築物の耐震性向上を促進するため、住宅やマンションおよび業務商業建築物の耐震改修等に要する費用の一部または全額を助成した。また、災害時における物資輸送路等を確保するため、特定緊急輸送道路沿道の建築物についても費用の一部を助成した。

ア 民間建築物の耐震改修等に要する費用の助成

・木造建築物

住宅	耐震診断・補強計画	27件	6,799千円
	耐震補強工事	15件	44,681千円
	簡易補強工事	10件	14,806千円
業務商業建築物	耐震診断・補強計画	1件	144千円

・木造以外の建築物

住宅	耐震診断	1件	500千円
分譲マンション	耐震診断	2件	4,000千円

・特定緊急輸送道路沿道の建築物

補強設計	2件	2,363千円
耐震補強工事	3件	94,216千円
除却	7件	223,590千円

イ 木造建築物補強計画内容確認等業務委託

(7) 防災用ネットワークカメラの設置

[決算額 11,619千円]

災害時における特定緊急輸送道路や沿線建築物の被害状況、帰宅困難者滞留状況等の情報をリアルタイムで視覚的に把握し、迅速な意思決定に必要な情報収集機能の強化を図ることを目的として、新たに京橋エドグラン、リガーレ日本橋人形町、晴海トリトンスクエアZ棟にネットワークカメラを設置した。

設置台数 3台（平成30年3月末現在設置数 5台）

(8) 防災行政無線のデジタル化

[決算額 102,840千円]

災害時に区民等へ速やかに災害関連情報を伝達するため、防災行政無線（固定系）を区内に整備しているが、情報伝達機能の充実を図るため、平成29年度から3カ年計画で、現状のアナログ方式からデジタル方式への移行工事に着手した。

(9) 防災マップアプリの作成

[決算額 7,216千円]

災害時に区民、帰宅困難者を円滑に避難所や帰宅困難者一時滞在施設等へ誘導するため、施設の開設状況と経路を案内する防災マップアプリを作成し、配信を開始した。また、ダウンロード用のQRコードを印刷した災害情報ステッカーを作成し、Wi-Fi環境が整備された公共空間等への掲示を進めた。

配信開始時期	平成29年8月
対応言語	4カ国語（日本語・英語・中国語・韓国語）
登録者数	3,462人（平成30年3月末現在）

(10) 荒川大規模氾濫に関する基本方針等の策定

[決算額 3,909千円]

避難方針等の策定に向けて、荒川大規模氾濫における本区の被害状況や課題を整理するとともに、国や東京都、ライフライン事業者、交通事業者等の関係機関との情報共有を図るなど連携体制を構築した。

今後、内閣府および東京都が共同で設置した「首都圏における大規模水害広域避難検討会」（平成30年6月設置）において、広域避難等の検討を進めていく。

(11) 防犯設備整備費助成

[決算額 43,668千円]

防犯上の課題を抱える町会・自治会等が、防犯アドバイザーによる助言に基づき、防犯設備を設置した場合には、以下により設置費用の一部を助成した。

町会・自治会	費用の2/3（上限額200万円）
町会・自治会と協力して実施する商店会	費用の2/3（上限額600万円）
マンション管理組合	費用の1/2（上限額50万円）

また、東京都と区が連携して実施した事業では、地域団体に対して設置費用の11/12（上限額 単独実施500万円・他団体との連携実施750万円）を助成した。

防犯設備整備費助成件数 39件（うち 東京都の助成制度活用 13件）

(12) 客引き等対策補助

[決算額 870千円]

繁華街における客引き対策として、東京2020大会までに一定の成果を上げることが目的に、外部パトロール員を雇用する地域団体が、パトロール員の増員や巡回等の強化を図った場合には、以下のとおり雇用費用の一部を補助した。

対象	構成員10名以上が月2回以上客引き防犯パトロールを実施する地域団体
補助率	1/2
限度額	500万円
客引き等対策補助件数	1件

* 地域整備

(1) 名橋「日本橋」上空の首都高速道路地下化および日本橋再生に向けたまちづくり

[決算額 10,957千円]

これまでの地元での協議検討や「日本橋川沿いエリアのまちづくりビジョン」に基づく日本橋川の河川空間をいかしたまちづくりの検討状況を踏まえ、国等に首都高速道路の地下化についての働きかけを行った結果、平成29年7月21日に国および東京都から、日本橋周辺のまちづくりと連携して首都高地下化に向けた検討を行う旨が発表された。同年11月1日に「首都高日本橋地下化検討会」が設置され、地元区である本区も検討の一翼を担うこととなった。

その一方で、日本橋川沿いで検討活動が行われている5地区の再開発事業においては、事業そのものの検討に加え、首都高地下化に伴う地下埋設物の状況整理や課題の抽出等新たな検討項目が生じた。併せて、首都高地下化の検討を進める上で、5地区以外の日本橋川沿い地域においても、地下埋設物等必要な情報のとりまとめが必要となった。

このため、川沿い5地区の再開発事業およびその周辺地域における首都高地下化に向けた検討を着実に進めていくため、地下埋設物等に関する情報の取りまとめやスケジュールの全体調整等の検討を行った。

日本橋再生推進協議会 開催回数 1回

(2) まちづくり支援事業（コミュニティ・ファンド） [決算額 813,060千円]

中央区市街地開発事業指導要綱に基づく、大規模開発等の事業者の協力による開発協力金を原資として、事業区域内の区民の居住継続や地域環境整備活動等の援助を行うことにより、地域の個性をいかしたまちづくりの実現を推進した。

支援事業および援助額

居住継続援助事業	461,860千円
営業継続援助事業	1,200千円
特定地域環境整備活動等援助事業（日本橋二丁目地区）	350,000千円

(3) 市街地再開発事業助成 [決算額 12,319,523千円]

市街地における土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新および住宅・住環境の改善を図り、良好な定住型住宅の供給を促進するため、市街地再開発事業者に対し、事業費の一部を助成した。

また、社会経済状況の変化等により市街地再開発事業が停滞しないよう、緊急的な助成を行い事業の進捗を図った。

助成地区および助成額

ア 市街地再開発事業助成

湊二丁目東地区	1,380,678千円
勝どき東地区	2,380,000千円
日本橋二丁目地区	3,212,000千円
日本橋室町三丁目地区	3,600,000千円
豊海地区	235,600千円
月島一丁目西仲通り地区	845,366千円

イ 市街地再開発事業助成（都市・地域再生緊急促進事業）

湊二丁目東地区	50,000千円
日本橋二丁目地区	503,879千円
日本橋室町三丁目地区	100,000千円
月島一丁目西仲通り地区	12,000千円

3 にぎわいとふれあいのある躍動するまちをめざして

○にぎわいと活力のある産業のまちづくり

* 商店街振興

(1) 観光商業まつり [決算額 44,819千円]

都心における代表的観光商業地区である本区の特性をいかし、区内全商業者が一体となって観光客の誘致を促進するとともに、商業意欲の高揚を図るための各種イベントを実施した。

実施期間 平成29年10月2日～11月3日

(2) 商店街支援事業補助 [決算額 113,121千円]

ア イベント事業

商店街が自らの宣伝等を目的として実施する事業に対し、その費用の一部を補助した。

補助件数 38件

イ 活性化事業

商店街が自ら行う施設整備または顧客の利便性向上等を目的として実施する事業に対し、その費用の一部を補助した。

補助対象事業

銀座通連合会AED整備事業

ウ 地域協力事業

中央区商店街連合会に加盟している商店街が、町会・自治会、特定非営利活動法人等と協力して実施する事業に対し、その費用の一部を補助した。

補助対象事業

地域協力イベント事業 1件

(3) 連携型商店街活性化モデル事業 [決算額 3,390千円]

複数の商店街や地域支援団体等が連携して取り組む活性化事業の実現に向けて、コンサルタントを派遣し、モデル地区において平成28年度に策定した行動計画の推進を支援した。

実施内容

お江戸日本橋東地区会の開催 6回

商店街の既存イベントを活用した連携支援

(4) 共通買物券の発行 [決算額 580,246千円]

区内の消費を一層刺激し、地域経済の活性化を図るため、共通買物券を発行し、一冊1万1千円分（5百円券22枚つづり）を1万円で販売した。

販売日 平成29年6月18日

販売場所 区役所、日本橋区民センター、月島区民センター
勝どき区民館、晴海区民館

発行総額 5億5千万円

* 産業振興

(1) 創業支援 [決算額 5,550千円]

開業率の向上を促進し地域の活性化を図るため、創業支援に向けた各種施策を実施した。

ア 出張経営相談

来庁が困難な創業希望者に対し、中小企業診断士を派遣して創業に関する相談を実施した。

創業相談件数 36件（派遣上限5回/1件）

イ 起業家塾

区内在住・在勤者で起業意欲のある者に対し、起業に必要な基礎知識を習得するための講習を実施した。

基礎編受講者数 34人

実践編受講者数 21人

個別相談利用者数 12人

ウ ホームページ作成経費補助

創業予定または創業後1年未満の者が新たにホームページを開設する場合に、経費の一部を補助した。

補助件数 5件（補助率2/3 限度額6万円）

(2) 日本橋問屋街活性化事業支援 [決算額 5,359千円]

問屋街活性化委員会が行ってきた活性化事業の実績、成果等を踏まえ、日本橋問屋街の再生とさらなる活性化を図るため、情報発信に関する事業、広報事業、文化服装学院との産学連携による人材育成等の活性化事業に加え、問屋街の今後の方向性をまとめた「日本橋問屋街街づくりビジョン」を実現するための取組に対する支援を行った。

事業内容

- ア 「問屋街案内マップ」の発行
- イ ホームページでの各種情報の更新、ソーシャル・ネットワーキング・サービスの活用
- ウ 講演会・勉強会の開催
- エ 文化服装学院との産学連携事業の実施
学生の間屋街研修（現金問屋の概論講義、タウンウォッチ）
インターンシップの実施
- オ 「日本橋問屋街街づくりビジョン」実現のためのアクションプラン策定
基礎調査事業の実施

(3) 商工業融資

[決算額 1,756,818千円]

区内中小企業の経営の安定と近代化、合理化を促進し、地域商工業のより一層の振興を図るため、次のとおり各種資金の融資あっせん、信用保証料補助および利子補給を実施した。

また、東京都制度融資（経営セーフ・災害緊急）を利用した小規模企業者に対して、信用保証料の一部を補助（限度額30万円）するとともに、商工会議所の推薦により、日本政策金融公庫が無担保・無保証人で融資する経営改善資金融資（マル経融資）の利子支払額の一部を補助した。

ア 貸付件数および貸付額

制 度 名	件 数	金額（千円）
運転資金融資	185	2,077,100
設備資金融資	37	502,710
小規模企業資金融資	97	964,450
年末特別資金融資	9	24,200
小口資金融資	238	1,099,830
創造支援資金融資	55	366,750
店舗・工場等小規模再開発資金融資	0	0
災害復旧資金融資	0	0
経営改善支援資金融資	179	1,962,500
団体資金融資	0	0
小規模企業特例緊急運転資金融資	30	88,500
区融資一本化資金融資	15	185,950
計	845	7,271,990

イ	信用保証料補助		
	区制度融資分	837件	142,865千円
	都制度融資分（経営セーフ・災害緊急）	12件	2,543千円
ウ	利子補給	27,968件	392,274千円
エ	経営改善資金融資利子補助	625件	10,714千円

(4) 若年者合同就職面接会 [決算額 236千円]

若年者と求人を希望する企業との合同就職面接会を開催し、若年者の就労の機会を確保するとともに、中小企業の人材確保の場を提供した。

実施日	平成29年12月4日
面接者数	延280人
求人数	30人
参加企業	15社
採用者数	8人

(5) 職業相談・就職ミニ面接会 [決算額 513千円]

ハローワーク飯田橋との連携により、職業相談および就職ミニ面接会を開催し、区民等の就労支援と雇用の安定化を図った。また、毎月第2火曜日に臨床心理士による心理カウンセリングを実施した。

実施日	毎月第2・4火曜日
面接者数	延202人
参加企業	32社
職業相談件数	32件
インターネット求人検索利用者数	4人
採用者数	27人
心理カウンセリング参加者数	9人

(6) **ビジネス交流フェアの開催** [決算額 1,297千円]

業種を超えた交流、商取引の拡大を目指す区内中小企業等を支援するため、中央区しんきん協議会、東京都よろず支援拠点ほか区内産業関係団体と共催で展示会および商談交流会を同時に行う「中央区ビジネス交流フェア」を開催した。

実施日 平成29年11月8日

会場 日本橋プラザ

参加実績

展示会	出展企業（事業者）数	68社
	一般来場者数	約300人
商談交流会	参加企業（事業者）数	58社

* **観光**

(1) **まち歩きツアー舟運コース** [決算額 536千円]

水の都中央区の特性をいかし、日本橋船着場など区内の船着場を利用した舟運による観光ツアーを、旅行会社や隣接区等と連携しながら広域的に実施した。

江戸・東海道“品川宿”と“日本橋”まち歩きと歴史クルーズ

品川発コース	平成30年3月3日	参加者数	9名
日本橋発コース	平成30年3月10日	参加者数	14名

(2) **観光案内施設事業費補助** [決算額 46,341千円]

区内における観光案内機能の充実を図るため、特に外国人旅行者が多く訪れる地域において、地域団体が公益を目的として多言語による観光案内を行う事業に対し、経費を補助した。

補助対象施設

銀座地域	G I n f o
築地地域	ぷらっと築地
日本橋地域	日本橋観光案内所

(3) **観光まち歩き情報の配信** [決算額 4,251千円]

ア ウェブサイト

地域観光の担い手として育成したガイドやおすすめコースの紹介およびガイド依頼の申込受付ができるページを新規に構築した。

イ スマートフォン用観光アプリ

まち歩き観光地図アプリの地図および日本語版と英語版のスポット情報を更新した。また、アプリを再構築し、動作環境の改善を図った。

(4) 観光案内標識の設置・更新およびフリーWi-Fi環境の整備

[決算額 124,642千円]

本区を訪れる国内外の来訪者が、快適かつ安心して区内観光を楽しめるように、国や都および区が多言語表記の指針に基づき、英語、韓国語、中国語およびピクトグラムを併記した観光案内標識を新たに設置し、既設の観光案内標識については盤面の更新を行った。

また、今後増加することが見込まれる訪日外国人等の受入環境の充実のため、他自治体が提供するサービスとの相互認証機能を持った、フリーWi-Fiサービスのアクセスポイントを設置した。

観光案内標識	新規設置	18カ所	盤面更新	16カ所
フリーWi-Fiサービス	アクセスポイント			12カ所

(5) 観光プロモーション映像の制作

[決算額 10,800千円]

国内はもとより世界に向けて本区の多彩な魅力を積極的に発信し、訪問先としての本区に対する興味喚起を図るため、中央区の観光プロモーション映像を制作した。

多言語対応 4カ国語（日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語）

(6) 都市観光環境の整備

[決算額 3,500千円]

巡って楽しむ都市観光の環境整備に向けて、銀座観光案内所「G I n f o」が、集客や回遊性を高めるために数寄屋橋公園等を活用して実施する事業に対して、経費の一部を補助し、その効果を検証した。

イベント事業名

G I N Z A P r o g r e s s i v e

開催日

第1弾	平成29年9月30日～10月1日	参加者数	延2,500人
第2弾	平成29年11月11日～11月12日	参加者数	延2,700人

(7) 日本橋船着場における舟運活性化事業補助

[決算額 13,000千円]

日本橋船着場において利用者の利便性の向上と水辺を活用したさらなるにぎわいの創出を図るため、舟運情報の集約化、情報発信、対面案内を行う事業に対して経費の一部を補助した。

案内開始日 平成29年7月23日

○ いきいきと学び豊かな個性を育むまちづくり

* 学校教育

(1) 学習意欲の向上と学習習慣の定着 [決算額 8,009千円]

小学校第4・6学年と中学校第1・3学年で「学習力サポートテスト」を実施するとともに、小学校第4学年から中学校第3学年までの全学年で「質問紙調査」を実施し、その結果に基づいて個人票を作成・配布することで、児童・生徒の学習意欲と学力の向上を図った。

平成29年度は、質問紙調査に新たな項目を加えるなど、学習状況のより詳細な把握に努めた。

なお、小学校第5学年と中学校第2学年については、東京都が実施する学力調査結果を活用した。

また、自主学习支援テキスト等を活用し、家庭での学習習慣の定着を図った。

「学習力サポートテスト」および「質問紙調査」実施日 平成29年4月27日

(2) 小学校の学力向上対策 [決算額 71,819千円]

基礎的学習の積み重ねが特に重視される算数について、非常勤講師を全校に配置して、習熟度別指導・個別指導を実施するとともに、理科授業のさらなる充実および活性化を図るため、実験や観察等において教員の支援を行う理科支援員を配置した。

また、放課後や土曜日、夏季休業期間中等において、各校の実情に応じた効率的な補習を行い、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図った。

ア 非常勤講師（算数）の配置

小学校16校 各1人配置（久松小学校・佃島小学校・月島第二小学校・月島第三小学校・豊海小学校は大規模校のため2人）

イ 理科支援員の配置

小学校16校 第5・6学年の全学級（1学級当たり150時間）

(3) 中学校の学力向上対策 [決算額 69,713千円]

国語・数学・英語・理科・社会の教科における習熟度別指導・個別指導等の充実を図るため、全校全学級を対象に各校の実情に応じた少人数授業を実施した。

また、夏季休業期間中に教育センターを利用して、習熟度別のコース設定による補習講座を実施するなど、生徒の学力に応じたきめ細かな学習支援を行った。

ア 非常勤講師の配置

24人（国語・数学・英語・理科・社会 各校6人×4校）

イ 夏季補習講座

実施回数 5日間×2回

参加生徒数 197人（第1学年82人、第2学年60人、第3学年55人）

参加率 約14.9%（参加生徒数／在籍生徒数）

(4) 英語教育の推進 [決算額 75,360千円]

グローバル化が進展する中、小学校の英語活動および中学校の英語の指導について、幼少期から英語に親しむことで、英語学習への関心や意欲を持たせるため、全校にA L T（外国人英語指導講師）を配置し、コミュニケーション能力の向上や中学校英語への効果的な接続、国際理解教育の視点に立った授業内容の展開を図った。

小学校 第1・2学年 年間11時間（月1時間）

第3～6学年 年間35時間（週1時間）

中学校 A L T配置日数 各校年間190日

(5) 健康教育の推進 [決算額 62,793千円]

ア 小学校の体育指導

児童の関心・意欲や技能に合った実技指導の補助等を行う体育指導員を全校に配置し、体育指導を充実させるとともに、マイスクールスポーツ（1校1運動）の継続的な取組を行った。

イ 中学校の体育指導

安全で効果的な指導により生徒の体力向上を図るため、武道・ダンス等の運動種目ごとの専門的な知識・技術や指導能力を有する種目別サポーターを配置し、体育指導の充実を図った。

ウ 小・中学校の食育指導

大学講師、プロの料理人等「食」の専門家による授業を実施した。

また、親子クッキングスクールでの学校給食の献立紹介や食育に関する啓発資料の展示等を通じて、バランスの良い食事、生活習慣等の普及啓発を図った。

エ 中学校の部活動指導

部活動を安定的に実施するため、専門的な知識・技術および指導能力を有する指導員を外部から募り、部活動の活性化を図った。

(6) 特別支援教育への対応

[決算額 118,348千円]

ア 特別支援教育専門員の配置

適切な就学相談を実施するとともに、就学後においても継続的にアプローチし、個々の障害に応じた教育的支援を行った。

特別支援教育専門員 5人 相談件数 96件

イ 特別支援教育アドバイザーの派遣

全校園に医師や臨床心理士等を派遣し、教員に対し特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒への適切な指導や必要な支援のあり方について、専門的な指導・助言等を行った。

派遣回数 小学校 年1回（特別支援学級設置校は、学級用に年3回を追加）
中学校 年3回（特別支援学級設置校は、学級用に年3回を追加）
幼稚園 年3回

ウ 特別支援教室の設置

発達障害や情緒障害等のある児童・生徒に対して、巡回指導教員と在籍学級との連携を緊密にし、個別の状況に合わせた適切な指導を行うため、小学校全校に特別支援教室を設置した。また、中学校においては、平成30年度の全4校の特別支援教室設置に向けた準備を進めた。

エ 特別支援学級の運営

心身に障害のある児童・生徒に対し、特別支援学級を設け特別支援補佐員を配置するなど、一人一人の能力に応じた適切な教育を行った。

また、明正小学校の通級指導学級（難聴・言語障害）において、ことばやきこえに課題のある児童の状態に適した専門性の高い支援を行った。

オ 学習指導補助員の配置

通級指導学級に通う児童・生徒が、在籍校の通常学級で学習する場合や、教育的支援を必要とする児童・生徒が通常学級に在籍する場合において、きめ細かな支援と学習指導を円滑にすることを目的として、学習指導補助員を配置した。

カ 介助員の配置

重い障害のある児童・生徒が在籍する学級に対し、介助員を配置した。

(7) 心を育てる教育の推進

[決算額 13,373千円]

深刻ないじめ問題等を未然に防止するため、命の尊さや友情の大切さといった心に訴える授業を全校で実施した。

また、不登校児童・生徒にさまざまな角度からアプローチするため、教育センターで実施する適応教室「わくわく21」に適応教室専門員（教職経験者）等を配置し、学校等と連携を図り、不登校の児童・生徒の生活や学習状況を詳細に把握するとともに、自立に向けた支援を行った。

ア 命と心の授業（外部講師の講演等）

小学校 16校 中学校 4校

イ 適応教室専門員等の配置

適応教室専門員 3人

適応教室指導員 1人

(8) オリンピック・パラリンピック教育の推進

[決算額 16,762千円]

平成27年度から、全小中学校・幼稚園において、本区独自のオリンピック・パラリンピック教育を推進しており、取組のさらなる充実を図った。

ア オリンピック・パラリンピック教育

- ・オリンピック・パラリンピック学習
- ・中央区版「一校一国運動」
- ・ハートフルスポーツ
- ・体力向上に向けた取組

イ オリンピック・パラリンピック英語講座

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、生徒に夢や目標を持たせるとともに、英語力の向上を図った。

対象者 中学校第1・2学年 43名

講師 ネイティブ講師

回数 全6回

内容 おもてなし講座（ボランティア業務ロールプレイング等）
中央区ガイド等

(9) 教育相談等 [決算額 57,944千円]

教育全般に対する相談業務を担う専任教育相談員（教職経験者、臨床心理士等）が、教育センターでの来所相談や電話相談を行うとともに、小学校および幼稚園を訪問した。

さらに、中学校に派遣しているスクールソーシャルワーカー（社会福祉士等）を平成29年度から小学校にも派遣し、いじめ、不登校、暴力行為等、生活指導上の課題に対応するため、関係機関との連絡・調整を図るとともに、専門的な知識や技術を用いて、問題を抱える児童・生徒や家庭の支援を行った。

専任教育相談員	15人	相談案件数	292件
スクールソーシャルワーカー	2人	派遣回数	延614回

(10) 小学校英語講師の配置 [決算額 10,784千円]

新学習指導要領では、小学校における英語の教科化、授業時数の増加等、英語教育が充実されることから、国際教育パイロット校（常盤小学校）を除く全小学校を対象に教員の指導力向上を図るため、小学校英語講師による巡回指導を行った。

(11) 早稲田大学と連携した理数教育の推進 [決算額 222千円]

平成27年6月に協定を締結した早稲田大学理工学術院と連携し、小中学校の理数教育の推進を図った。

ア 小学校科学実験教室

実施時期 夏休み期間の3日間

参加者 小学校第5学年 106名

内容 大学生を講師とした科学実験教室

（光が持つさまざまな性質を、自分たちで作った実験道具を使って体験してみよう！）

イ 中学校理数講演会等

教授による理科・数学への興味が高まる内容の実験教室等を全中学校で実施した。

(12) パイロット校における国際教育・理数教育の推進

[決算額 7,670千円]

ア パイロット校における国際教育

パイロット校である常盤小学校において、さまざまな取組を通じ、国際教育の推進を図った。また、常盤小学校は、平成27年12月18日に文部科学省から「教育課程特例校」の指定を受けている。

- ・英語科授業時数 第1・2学年 年間 70時間
第3～6学年 年間 105時間
- ・国際科授業時数 第3～6学年 年間 35時間
- ・小学校英語講師の配置
- ・ALT（外国人英語指導講師）の配置 週3日
- ・英語検定の受験
- ・タブレット端末を活用した、児童の興味関心や習熟度に応じた個別学習および反復学習

イ パイロット校における理数教育

パイロット校である城東小学校において、さまざまな取組を通じ、理数教育の推進を図った。

- ・「理数の時間」 各学年 年間35時間
- ・自然体験学習（サイエンスキャンプ）の実施
- ・早稲田大学や地域企業と連携した実験教室の実施
- ・タブレット端末を活用した、児童の興味関心や習熟度に応じた個別学習および反復学習

(13) ひとり親家庭等の子どもの学習支援事業

[決算額 1,903千円]

経済的な理由により塾等に通えない中学1年生～中学3年生までのひとり親家庭等の子どもに対し、大学生等の学習支援ボランティアによる無料の学習会を実施し、子どもの学習習慣の定着や、ひとり親家庭特有の悩みに対する精神的なケアを図った。

定 員 10名程度

実施内容 ボランティア1名に対し児童1～2名程度の個別指導学習方式
区内2カ所で開催 各30回（1回120分）

受講人数 延264人

(14) 晴海地区の小学校・中学校の整備 [決算額 38,847千円]

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後の児童・生徒数の増加に対応するため、晴海地区に小学校と中学校を整備する。平成29年度は基本設計を行った。

整備地	晴海五丁目
整備経過等	平成29年度 基本設計
開校予定	平成35年4月

(15) 小学校・幼稚園の改築・増築 [決算額 6,413,168千円]

児童数の増加への対応とともに施設機能の更新を行い、新しい時代に即した教育環境の設備や良好な学習空間の確保を図るため、小学校・幼稚園の増築・改築を行った。

ア 日本橋小学校・日本橋幼稚園の増築

整備経過等	平成26年度	基本設計
	平成27年度	実施設計
	平成27年度～29年度	建設工事
	平成30年4月	増築校・園舎開設

イ 月島第三小学校・晴海幼稚園の増築

整備経過等	平成26年度	基本設計・実施設計
	平成27年度～29年度	建設工事
	平成30年4月	増築校・園舎開設

ウ 城東小学校・阪本小学校の改築

整備経過等	平成28年度	阪本小学校新校舎基本設計
	平成29年度	阪本小学校新校舎実施設計
		仮校舎整備・移転、用地取得
		阪本小学校旧校舎解体工事

(16) 学校の主な改修 [決算額 397,450千円]

学校施設等の老朽化に伴い、以下の改修工事を行った。

ア 京橋築地小学校

体育館天井改修、トイレ改修実施設計

工事期間（体育館天井改修） 平成29年6月15日～平成29年8月31日

設計期間（トイレ改修） 平成29年4月1日～平成29年10月31日

イ 常盤小学校

給食室等改修、外壁等改修実施設計

工事期間（給食室等改修） 平成29年5月17日～平成29年12月15日

設計期間（外壁等改修） 平成29年4月21日～平成30年3月30日

ウ 佃島小学校・佃中学校

建築・電気設備・機械設備大規模改修基本設計・実施設計

設計期間 平成29年4月14日～平成30年3月30日

エ 宇佐美学園

受変電設備改修

工事期間 平成29年12月25日～平成30年9月26日

オ 銀座中学校

体育館天井改修

工事期間 平成29年6月28日～平成29年8月31日

カ 柏学園

浴室ボイラー改修

工事期間 平成29年10月19日～平成30年3月23日

* 生涯学習・スポーツ

(1) キンボールスポーツワールドカップ交流会

[決算額 1,256千円]

第9回キンボールスポーツワールドカップ2017東京大会の開催に伴い、中央区スポーツ推進委員等の協力のもと、各国代表選手団と区立小学校児童の交流会を実施した。

実施日 平成29年10月30日 大会開会式の前日

場 所 区立16小学校

(改築中の城東小学校・阪本小学校は区立総合スポーツセンター)

参加国 11の国と地域（カナダ、日本、ベルギー、フランス、スペイン、スイス、デンマーク、チェコ、中国、シンガポール、香港）

実施内容 キンボールスポーツのデモンストレーション・体験
選手との交流等

参加者数 児童2,707人、選手202人

(2) 中学生ボランティア体験

[決算額 一 千円]

スポーツ活動を「ささえる」人材の育成を図るため、中学生に対してボランティアとして運営等に参加する機会を提供した。

イベント 第29回「区民スポーツの日」

実施日 平成29年10月9日

配置場所 体力測定・健康相談コーナー（都立晴海総合高校グラウンド）

参加者数 51人（区内4中学校）

○ 文化の香る交流のまちづくり

* コミュニティ

(1) 大江戸まつり盆おどり大会 [決算額 44,103千円]

区民のふるさと意識の高揚と地域の活性化を図るため、江戸のまちにゆかりの深い盆踊りを中心とした「中央区大江戸まつり盆おどり大会」を実施した。

実施日	平成29年8月25日・26日
実施場所	浜町公園
実施内容	盆おどり大会、大江戸縁日コーナー、友好・交流都市コーナー等
参加者数	延76,000人

(2) 協働提案事業 [決算額 1,629千円]

社会貢献活動団体（NPO法人・ボランティア団体等）と区が協力して公共的な課題解決に取り組み、よりきめ細かな行政サービスを提供するため、平成28年度に協働提案事業を公募し、審査のうえ採択された2事業について平成29年度に実施した。

ア 子育てがラクになるワークショップ事業

ワークショップへの参加を通じ、子どもの話をしたり自分の気持ちを話すことにより、独りで抱えなくてもいいこと、悩んでいるのは自分ひとりではないことを体験する。

実施団体	認定特定非営利活動法人 エンパワメントかながわ
参加者数	児童館職員向け事前説明会 19人
	ワークショップ（全7回） 延103人

イ 校庭開放を活用した安心できる子どもの遊び場づくり・体力づくり

小学校の校庭開放を活用し、キャッチボール、ボール蹴りほか、公園等で行うことが難しい遊びや運動を、スポーツ指導者が直接指導することで、遊び場の充実と体力増進を図る。

実施団体	中央区地域スポーツクラブ大江戸月島
参加者数	幼児・小学生 延393人（全12回）

(3) 区民還暦祝い事業 [決算額 10,895千円]

還暦を迎える区民の人生の節目を祝福するとともに、今後の人生をより充実させるための学びへの意識高揚や、これまで培った知識や経験・能力を地域社会でいかしたいという行動の契機とすることを目的に実施した。

ア 還暦祝い状・祝い品（映画ペア券）の贈呈

対象	平成29年度中に60歳を迎えた区民
発送時期	平成29年9月

イ 還暦のつどいの実施

実施日	平成29年11月23日
対象	参加を希望する還暦対象者
会場	銀座ブロッサム（中央会館）ホール
内容	シニア世代の活動紹介、コンサートほか
入場者数	435人（同伴者等を含む。）

* 文化振興

(1) 本の森ちゅうおう（仮称）の整備 [決算額 50,002千円]

「子どもから大人まで誰もが親しみをもって利用でき、歴史・文化を未来へ伝える地域の生涯学習拠点」である図書館、郷土資料館および生涯学習の機能を融合させた「本の森ちゅうおう（仮称）」の開設に向け、基本設計を進めた。

(2) 中央区まるごとミュージアム [決算額 35,028千円]

本区全体が、名所・旧跡、画廊・美術館、水辺等さまざまな魅力に満ちあふれるミュージアムであることから、区民等が区内を無料のバスや船で回遊しながら、民間事業者等が行う文化イベントへの参加を通じて区の文化的な魅力を楽しみ享受できる一日となるよう、区と中央区文化・国際交流振興協会の共催で実施した。

開催日	平成29年10月29日
場所	中央区全域
参加者数	延30,000人 (江戸バス・借上バスの乗車人数 3,229人、船の乗船人数 879人)

(3) まちかど展示館 [決算額 10,263千円]

地域文化の継承と区民の文化意識の向上を図るとともに、地域への誇りや愛着心を育むため、区民等が地域にある文化資源を発掘し、一般に展示・公開する施設を「中央区まちかど展示館」として認定している。

これら「中央区まちかど展示館」の運営を支援するとともに、展示館事業者等で構成する「まちかど展示館運営協議会」において、専用ホームページやフェイスブックによる情報発信の強化、展示館見学ツアーやオリジナルスタンプラリーの実施、多言語対応の促進等、「中央区まちかど展示館」を観光・文化資源としてより一層活用していくための取組の充実を図った。

認定総数	22施設
助成件数	19件（施設管理運営費）

* 平和

(1) 平和の都市（まち）の楽しい集い [決算額 9,433千円]

本区は、昭和63年3月15日に平和都市であることを宣言した。

この宣言の趣旨を普及させるとともに、平和の大切さを区民に訴えるため「平和の都市（まち）の楽しい集い」を開催した。

開催日	平成30年3月15日
会場	銀座ブロッサム（中央会館）ホール
内容	ポピュラーコンサート 「心に響く歌声をあなたに ～いとしい仲間たち～」
出演者	ブラザーズ5 (杉田二郎、堀内孝雄、ばんばひろふみ、高山巖、因幡晃)
前売入場券発売数	880枚
当日入場者数	840人

(2) 平和展 [決算額 2,465千円]

本区の空襲被害、戦中・戦後の区民の生活や子どもの様子等、当時を物語る写真や戦災資料を公開展示することにより、区民に平和の大切さ、尊さを訴え、平和を見つめ直すきっかけづくりとして、平和展を開催した。

また、次代を担う児童・生徒に戦争の悲惨さ、平和の大切さを考えてもらうきっかけづくりとするため、区立小・中学校巡回平和展を実施した。

ア 平和展

期間	平成30年2月27日～3月12日の開庁日
場所	区役所1階 ロビー 日本橋区民センター1階 エントランスホール 月島区民センター1階 コミュニティサロン
展示内容	写真パネル・物品資料の展示 戦災体験者証言・平和アニメDVD上映

イ 区立小・中学校巡回平和展

対象校	小学校16校・中学校4校
期間	平成29年9月21日～平成30年1月24日（1校当たり2週間の展示）
内容	写真パネルの展示、平和絵本・平和クイズの展示・閲覧 戦災体験者証言・平和アニメDVDの貸出

4 その他の主要な課題への対応と区政改革の推進

○ 新たな課題への対応

(1) 新たな基本構想の策定 [決算額 888千円]

急激な人口増加や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等、本区を取り巻く環境が大きく変容している中、中央区基本構想審議会における答申を踏まえ、平成29年6月、新たな「中央区基本構想」を策定し、20年後の本区の将来像とその実現に至る道筋を示した。

(2) 中央区基本計画の策定 [決算額 4,222千円]

平成29年6月に策定した「中央区基本構想」で掲げた本区の将来像の実現に向けて、平成30年度を計画の初年度として、今後10年間を見据えた具体的な施策や取組内容を示す「中央区基本計画2018」を策定した。

策 定 平成30年2月

計画期間 平成30年度～平成39年度

(3) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた区民参加の推進

[決算額 231千円]

ア 中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会の運営

東京2020大会に向けて、区民、関係団体・機関および区が一体となって地域の発展に取り組んでいくため、関係者間の情報共有および連絡調整を強化するとともに、地域の自主的な取組の促進等を行う会議体として、中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会を運営している。

設立年月日 平成27年12月17日

構 成 員 37人

検 討 部 会 観光・文化検討部会（平成28年3月28日設置）

ボランティア検討部会（平成29年1月26日設置）

イ オリンピック・パラリンピックに関する講演会の開催

東京2020大会の開催に向け、ボランティア活動の推進等、区民の気運醸成を図るきっかけづくりの場として、オリンピック・パラリンピックに関する講演会を開催した。

実施日・内容

- ・平成29年度第1回 平成29年8月24日 参加者数 91人
「東京2020大会後を見据えた共生社会の実現」
- ・平成29年度第2回 平成30年1月26日 参加者数 60人
「パラスポーツの魅力と東京2020大会に向けて私たちにできること」

(4) 中央区ホームページにおけるウェブアクセシビリティの向上 [決算額 1,309千円]

本区ホームページのウェブアクセシビリティの維持・向上のため、最新のJIS規格（JIS X 8341-3:2016）に基づくウェブページ試験を実施するとともに、総務省推奨のアクセシビリティ評価ツール「miChecker」を利用して全ページのアクセシビリティチェックを行った。

また、「中央区版 ウェブアクセシビリティガイドライン」を新たに作成するとともに、研修を実施し、職員の意識向上を図った。

ウェブページ試験概要

- 試験日程 11月27日～12月1日
- 試験結果 JIS X8341-3:2016の適合レベルAAに準拠
- 試験対象ページ数 40ページ
- 試験結果公表日 12月15日

(5) タブレット端末を利用した通訳サービス [決算額 319千円]

近年、外国人来庁者への対応が増えていることから、タブレット端末を利用したテレビ電話による通訳サービスを導入し、案内サービスの向上を図った。

- 実施場所 本庁舎1階まごころステーション
- 利用件数 28件

(6) OAパソコンのデスクトップ仮想化 [決算額 158,758千円]

情報漏えい対策の強化および庁内OAパソコンの運用管理の効率化を図るため、平成29年12月から平成30年3月にかけて、デスクトップ仮想化（VDI）を行った。デスクトップ仮想化（VDI）に伴い、OAパソコンで個別に稼働させていたOSやアプリケーション、データ等をサーバー上の仮想基盤へ統合した。

- デスクトップ仮想化庁内OAパソコン台数 1,160台

(7) 区施設のあり方検討 [決算額 3,996千円]

本庁舎整備に関する庁内検討組織を設置し、現本庁舎における利便性、狭隘化等の課題を整理し、建替えの必要性を検討するとともに、当該整備に関する基本的な方針を策定するための調査・検討を行った。

(8) 新たな寄附のあり方検討 [決算額 2,673千円]

本区の特徴をいかし、返礼品に頼らない新たな寄附の仕組みを構築するため、区内在勤者を対象にふるさと納税（寄附）に関する意識調査および他自治体における運用実態に関する調査を行った。この調査により、本区が取り組むべき検討課題として、寄附者によるふるさと納税の使い道指定の導入や効率的かつ効果的な運用体制等が挙げられた。

検討後、これまでの区政全般や分野を指定した寄附に、新たに「応援したい団体を指定する寄附」を加えた中央区版ふるさと納税として「ふるさと中央区応援寄附」を平成29年12月から実施した。

(9) 地域福祉コーディネーターおよび生活支援コーディネーターの配置

[決算額 25,495千円]

地域の中で支援を必要とする人に対し、直接職員が地域に出向き、個人の課題解決に向けた支援を行うとともに、住民同士で助け合える継続的なシステムを構築する地域福祉コーディネーターおよび生活支援コーディネーターを中央区社会福祉協議会に配置した。

平成29年度は、月島地域をモデル地域として活動した。

(10) 「みんなの食堂」に対する支援 [決算額 44千円]

子ども等の孤食防止やコミュニティづくりを目的として、食事の提供等を行う「みんなの食堂」を実施する団体に対し、場所の提供等の支援を試行的に実施した。

団体数 1団体

○ 区施設の改修

(1) 女性センター「ブーケ21」 [決算額 24,684千円]

施設の経年劣化に伴い外壁および防水改修工事を行った。

改修期間 平成29年11月～平成30年3月

改修内容 外壁改修工事、屋根防水改修工事

(2) 中央会館「銀座ブロッサム」 [決算額 40,273千円]

施設の老朽化に伴う大規模改修工事を平成30年度に実施するため、実施設計を行った。

工事期間 平成30年4月～平成30年10月

(3) 日本橋社会教育会館・日本橋図書館 [決算額 888,618千円]

日本橋小学校・幼稚園の増床に伴うフロア移転工事および内部改修工事を行い、併せて施設老朽化による大規模改修工事を行った。

工事期間 平成27年7月～平成30年3月

(4) 月島社会教育会館晴海分館「アートはるみ」・ふれあい作業所

[決算額 295,694千円]

月島第三小学校整備工事に伴う改修を行った。

工事期間 平成27年10月～平成30年3月

(5) 月島運動場 [決算額 92,399千円]

近年の野球用具の性能向上により飛球の距離や高さが伸びていることから、敷地外飛球の防止を図り、周辺の安全性を向上させるため、月島運動場において、既存の防球ネットに加え、ファウルボールを捕捉する天井ネットを設置した。

工事内容 天井ネット3基設置

工事期間 平成29年12月～平成30年2月

(6) 月島スポーツプラザ等複合施設（月島スポーツプラザ、月島幼稚園、月島西仲住宅）

[決算額 14,062千円]

施設の老朽化への対応や機能強化を図る大規模改修を開始するため、月島スポーツプラザ、月島幼稚園、月島西仲住宅の建築・電気設備・機械設備大規模改修基本設計・実施設計を行った。

工事期間 平成31年7月～平成33年3月（予定）

- (7) 特別養護老人ホーム等「マイホーム新川」 [決算額 835,468千円]
施設の老朽化に伴い、大規模改修工事を行った。
工事期間 平成29年7月～平成32年3月
- (8) つくだ保育園 [決算額 425,173千円]
施設の老朽化に伴い、建築工事、機械設備改修工事、電気設備改修工事を行った。
工事期間 平成29年7月～平成30年9月
- (9) 日本橋保育園 [決算額 10,673千円]
施設の老朽化に伴う大規模改修工事を平成30年度から開始するため、実施設計を行った。
工事期間 平成30年7月～平成32年7月
- (10) 築地あかつき住宅 [決算額 39,247千円]
施設の経年劣化に伴い外壁・防水改修を行った。
改修期間 平成29年11月1日～平成30年3月30日
改修内容 外壁改修 3,554㎡、防水改修 1,149㎡
- (11) 晴海ガーデンコート [決算額 13,958千円]
施設の経年劣化に伴い開放廊下の改修を行った。
改修期間 平成29年12月20日～平成30年3月30日
改修内容 開放廊下長尺シートの張替

平成29年度

主要な施策の成果説明書

刊行物登録番号
30-059

編集・発行

中央区企画部政策企画課

中央区築地一丁目1番1号

電話 03(3546)5212

印 刷

タナカ印刷株式会社 浜町営業所

中央区日本橋浜町三丁目39番11号302

電話 03(5623)3981